

1. 教育目標 「いきいきと生活し、共に育つ子の育成」

2. 目指す子ども像

- 遊びに夢中になり、喜びを味わえる子
- 自分の思いを表現できる子
- 身体もこころもたくましい子
- 相手の気持ちのわかる子

3. 今年度の実践目標

- (1) 基本的な生活習慣を確立する
- (2) 健康でのびのびと活動する楽しさを味わう
- (3) 自分の思いを言葉で伝え、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう

4. A：できている B：だいたいできている C：あまりできていない D：できていない E：わからない

実践目標	評価項目 (今年度の重点目標)	評価の観点	自己 評価	改善の方策	学校園関係者評価	
					自己評価の適切さ	達成状況
(1) 基本的な生活習慣を確立する	①身近な人と気持ちよく挨拶をしようとする	・自分から「おはよう」「こんにちは」「はい」等が言えたか ・意欲的に『あいさつ運動』に取り組んだか	B	・大人から挨拶する姿を見せることで、自ら挨拶する心地良さを感じさせる。		
	② 持ち物や身の回りの整理整頓ができる	・登園後の荷物整理が身に付いていたか ・靴箱のはきものがそろっていたか ・園内の諸室や廊下が整頓されていたか	B	・整頓された様子を図示する。 ・きれいになる喜びや気持ち良さを大人が感じ、意図的に声掛けをする。	・達成が最も難しい項目であり、家庭での習慣付けが大いに影響する内容である。よくできている。	B
	③手洗い・うがい等、生活のリズムが整えられる	・コロナ禍での生活習慣が身に付いていたか ・健康な生活に関心を持ち、病気やけがをしないよう心掛けていたか	B	・全体的に身につけてきているが、個人差があるので丁寧な見守りや声掛けが必要である。		
(2) 健康でのびのびと活動する楽しさを味わう	④食べ物や命を大切にしようとする	・できるだけ好き嫌いせずに残さず食べようとしていたか ・動植物の世話を通して、命の大切さを感じていたか	B	・弁当を残さず食べられた喜びを家庭と連携していく。 ・引き続き動植物の世話をしていく。		
	⑤身体を動かして遊ぶことを楽しみ、やり遂げる喜びを味わう	・身体を動かして遊びたい環境が整っていたか ・友達と役割分担しながら、やり遂げる喜びを感じられたか	A	・遊具や砂場遊びだけでなく、芝生での運動遊びの楽しさに気付けるような工夫が必要である。	・体全体で歌う姿も素晴らしいし、園生活を十分楽しんでいることがよくわかる。	A
	⑥自らの心を動かして遊びを発見工夫し、挑戦しようとする	・遊びに夢中になり、新たな発見や工夫を楽しんでいたか ・自分なりの目標に向かって取り組めたか	A	・好きな遊びが見つかり、その遊びが発展するようなしなかけをしておく。		
(3) 自分の思いを言葉で伝え、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう	⑦様々な人との関わりの中で、思いやりの心や感謝の気持ちをもつ	・友達や地域の方とふれあう中で、「ありがとう」「ごめんさい」「大丈夫？」等の気持ちを、会話や態度で表すことができたか	B	・心で思っているだけでなく、言葉に出して表現する姿を認め、その経験を増やせるように促していく。		
	⑧友達の話の聞いたり自分の思いを伝えたりしながら、コミュニケーションを楽しむ	・安心して話し合えるような信頼関係を築くことができたか ・お互いの思いを伝えあえる充実感を楽しめたか	B	・誰とでも対等に話ができるよう、友達関係を広めるような手立てや思いを受け止め合う場作りが必要である。	・自分の思いを言葉や作品でいっぱい表現できており、信頼関係も大変よく築かれていると思われる。	A
	⑨遊びを通して互いの良さに気づき、認め合う仲間づくりができる	・友達と一緒に遊びのルールを考えたり守ったりしながら、お互いの良さを認めあい、絆を深めることができたか	B	・指摘や否定するのではなく、相手の良さを認められるよう、大人も共感して手本を示していく。		

